



## 緊急座談会

# ASD（自閉症スペクトラム）のある人の 就労上のメンタルヘルスについて考える ～バーンアウトはあるのか、予防できるか～

わが国では、知的障害のある人も含め、数多くのASD特性のある方が競争的環境における雇用就労を成し遂げています。最近では、就労上でその特性の存在に気づく人も増えてきました。いずれの場合も、当事者の一定の自己理解のもと、就労支援や合理的配慮の提供により、社会で良い働き手として活躍できることが知られています。

その一方で、ASD特性のある方が無理や我慢をしやすく、健康を保ち良い形で働き続けることに困難を抱えやすい事実も、一部の現場では知られるようになりました。

海外では、**ASD特有のバーンアウト（燃え尽き）**があることも、多くの当事者から発信されています。そしてこれら**メンタルヘルス**に影響を及ぼす要因として、近年わが国では**過剰適応**が、海外では**カモフラージュ**が注目されています。

本セミナーでは、研究・臨床領域で指摘されている「**過剰適応、カモフラージュ、バーンアウト**」について、ミニレクチャーで押さえた後、就労支援や障害者雇用の現場の実務者を話題提供者に迎え、**ASD特性のある方の就労上のメンタルヘルス課題と支援のあり方**について、座談会形式で考えていきます。

Zoomによる  
オンライン  
開催

参加  
無料

定員  
50名

**日時：2022年2月23日(水・祝) 9:30～12:00**

**場所：オンライン(Zoom)**

**対象：発達障害の支援関係者、障害者雇用・就労支援関係者、その他  
当日、オンライン受講の環境準備が可能な方**

<講師、司会>

千田 若菜（ながやまメンタルクリニック）

<話題提供>

柴田 珠里 氏（横浜市発達障害者支援センター）…相談支援の立場から

網代 美保 氏（株式会社ベネッセビジネスメイト）…企業・定着支援の立場から

山田 智子 氏（ながやまメンタルクリニック）…就労支援・ジョブコーチの立場から

飯利 知恵子 氏（ながやまメンタルクリニック）…学齢期支援の立場から

<指定討論>

岡田 智 氏（北海道大学大学院教育学研究院）

お申込方法

大妻女子大学共生社会文化研究所ホームページ（<http://www.iisc.otsuma.ac.jp>）内  
参加申込フォームよりお申し込みください。申込フォームには右のQRコードからも  
アクセスできます。定員に達し次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ

[wakana.chida@otsuma.ac.jp](mailto:wakana.chida@otsuma.ac.jp)（千田）

